

クリープ試験技術研究組合報告講演会のお知らせ

わが国におけるクリープ試験技術の向上発展に資するため、共同研究に関し本会が推進役となつて準備を進めたクリープ試験技術研究組合（昭和39年2月末現在鉄鋼会社をはじめ機械メーカー、造船会社など21社が参加）は、昭和37年3月に設立せられ、通産省より毎年補助金の交付をうけ研究活動を行なつております。今回、本会第67回講演大会開催に際し、同研究組合より、これまでの研究経過の報告を下記の通りお願いすることになりましたので、多数会員お誘い合わせのうえ、ご来聴下さい。

記

日	時	昭和39年4月5日(日) 9:00より		
会	場	東京大学工学部2号館大講堂		
講	演			
	9:00	挨拶	クリープ試験技術研究組合専務理事	俵 信次君
	9:05	クリープ試験技術研究組合の現状		
			クリープ試験技術研究組合専務理事	俵 信次君
	9:20	クリープ試験技術研究組合の試験計画		
			クリープ試験技術研究組合顧問 京都大学工学部教授	平 修二君

講演会場案内

	第1日	第2日	第3日
通常総会、名誉会員推挙式、表彰式 表彰記念特別講演会	2号館大講堂 (13:00より)		
クリープ試験技術研究組合報告講演会 共同研究部会報告講演会		2号館大講堂 (9:00より)	
第1会場	2号館25号教室	2号館25号教室	2号館25号教室
第2会場	2号館26号教室	2号館26号教室	2号館26号教室
第3会場	3号館35号教室	2号館大講堂	2号館大講堂
第4会場	2号館21号教室	2号館21号教室	2号館21号教室
第5会場	2号館22号教室	2号館22号教室	2号館22号教室
第6会場	3号館34号教室	3号館34号教室	3号館34号教室
第7会場	3号館36号教室	3号館36号教室	3号館36号教室
第8会場	3号館37号教室	3号館37号教室	3号館37号教室

懇親会場および見学会集合場所について

すでにお知らせいたしました懇親会の会場および見学会集合場所の略図は下記の通りですので、懇親会、見学会に参加の方は間違いなく、定刻までにご集合下さるようお願いいたします。

懇親会場付近略図

乗物

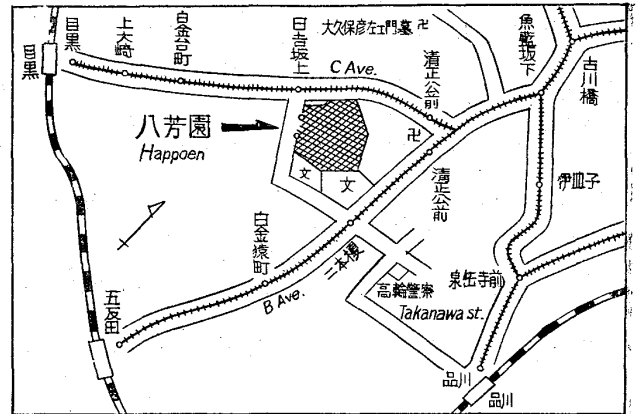
品川駅より

バス=目黒行.....白金小学校} 下車
日吉坂上 }

目黒駅より

バス=大井競馬場} 行.....日吉坂上下車
東京駅 }

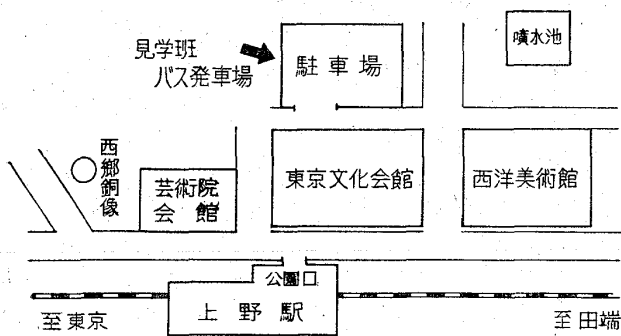
都電=⑤永代橋行.....日吉坂上下車



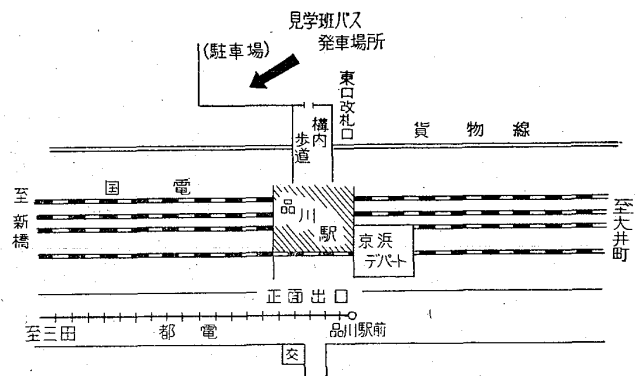
なお当日、講演会場の東京大学工学部2号館前より懇親会場行バス（5時、5時20分発）を用意いたします。

見学班集合場所付近略図

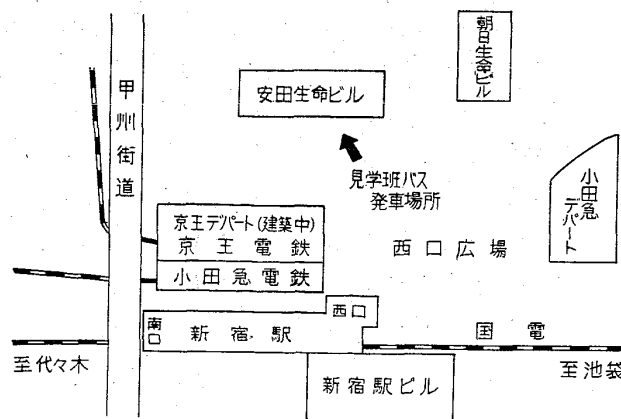
第1班～第3班



第4班～第6班



第7班～第9班



第1回理工学における同位元素研究発表会開催について

本会ほか 38 学協会の協同主催による標記研究発表会が下記の通り開催されますので、多数会員奮ってご参加下さるようお知らせいたします。

記

日 時 昭和 39 年 4 月 21 日(火), 22 日(水), 23 日(木) 9・00 より

会 場 東京大学医学部総合中央館 (第Ⅰ, Ⅱ会場)

〃 薬学部記念講堂 (第Ⅲ会場)

プログラム (鉄鋼に関係ある講演)

4月21日(火) 第Ⅲ会場 13・00 より

ドラム型粒機による焼結原料の造粒性の測定	富士製鉄, 釜石製鉄所	庄 野 四 朗, 他
混銑炉における溶鉄の混合について	富士製鉄, 広畑製鉄所	野 村 悦 夫, 他
ルールシュタール真空脱ガス装置における R I の利用	富士製鉄, 広畑製鉄所	宮 川 一 男, 他
¹⁹⁸ Au によるリムド鋼造塊に関する実験技術	八幡製鉄所, 技術研究所	森 久, 他
Co ⁶⁰ による鋼材疵の追跡	富士製鉄, 室蘭製鉄所	斎 藤 力, 他
鋼中の特殊元素に関する研究 (放射性同位元素による鋼中の特殊元素の挙動に関する研究)	神戸製鋼所, 中央研究所	谷 口 政 行, 他

なお、詳細については下記にお問合わせ下さい。

東京都文京区駒込上富士前町31 理化学研究所内

日本放射性同位元素協会 調査研究部 (電) 981-4166

第8回材料試験連合講演会講演募集要項

共 催 日本学術会議材料試験研究連絡委員会, 日本鉄鋼協会ほか 17 学協会 (幹事学会: 化学工学協会, 日本金属学会, 日本材料学会, 窯業協会)

日 時 昭和 39 年 9 月 9 日(水)・10日(木)

会 場 京都大学工学部講義室

講演申込

1. 参加学会所属の会員は当該学会を通じて申し込み参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申し込む事。
2. 講演内容はすでに発表されたものでも差しつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。なお研究内容は材料の諸物性、諸性質の測定および試験ならびに材料の適切な使用に関する研究を包含する。
3. 講演時間は約 20 分 (討論を含む) の予定。
4. 講演の採択などは材料試験連合講演会運営委員会に一任されたい。
5. 申込用紙は B 5 版とし、次の事項を必ず記載すること。

a. 講演題目, b. 梗概約 200 字, c. 講演部門名, d. 講演ならびに連名者の各氏名, 勤務先, 通信先, 学会員資格, 年齢 (連名の場合には登壇者に○印をつけること) e. 講演題目, 氏名, 勤務先には英文を付記すること. f. スライド使用の有無 (大きさは 35mm) g. 欧文論文集 (付記参照) へ投稿希望の有無

注 第1部 金属材料, 第2部 非金属材料 (有機物, 無機物), 第3部 一般 (材料試験機, その他)

申込締切 昭和 39 年 6 月 20 日 (土)

講演前刷

聴講者のテキストとし、あわせて講演時間の短縮、掛図などの節約のため、講演者全部の講演前刷を作るので、講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ (参加学会会員以外の方は申し込んだ幹事学会へ) 提出すること。

a 講演前刷原稿提出期日 7 月 20 日 (月)

b 前刷原稿は規定の原稿用紙 2 枚以内 (図表, 写真を含めて邦文で約 2,600 字) に明りように

墨書し、なるべく余白を避けるように留意のこと（講演前刷はオフセットになるので写真も入れることが出来る）

c. 所定原稿用紙は講演申込み者に所属学会から送り、所定用紙以外に書いた原稿は受付けない。

(付 記)

1. 発表論文は **Proceedings of the Eighth Japan Congress on Testing Materials** にのせ諸外国にも頒布の予定である。
2. 本論文集に登載される論文は今回発表されたもので、欧文で未発表のものに限る。
3. 投稿希望者は別に送られる規定原稿用紙に執筆し、講演会当日までに日本材料学会（京都市左京区吉田泉殿町1番地の101 電話京都77局1912番）に提出すること。
4. 当日以降の提出原稿は受理しない。また、不備な原稿は返却することがある。

学 技 術 界 報

第6回日本アイソトープ会議論文募集について

日本原子力産業会議では関係学協会と共催で、「第6回日本アイソトープ会議」を来る11月16日より4日間東京において開催いたしますが、現在標記論文の募集を行なっておりますので、参加ご希望の方は奮つてご応募下さい。なお詳細については下記申込先にお問合せ下さい。

論文募集課題

1. 研究発表

アイソトープおよび放射線に関する物理、化学、測定、機器、遮蔽、安全取扱、および施設など、アイソトープ並びに放射線を利用する場合の基礎となる研究あるいは技術に関するもの。

2. シンポジウム

(1) 放射線管理にともなう放射線測定、(2) 工業的計測法（密封線源利用、トレーサー利用に伴う計測など工業利用全般に関する計測の問題について）、(3) 工業におけるトレーサーの調製法（調整法そのものと、それを使用した研究の成果を含む）など11項目

内 容

上記各課題に合致するもので、研究結果が明瞭なものとする。

内容に既発表のものを含んでも差支えない。

(1) 論文提出の希望者は課題別、論文題名、所属、住所、発表者名（共同発表の場合は所属、住所、発表者名を個々に記入の上、口頭発表予定者の左肩に○印を付記すること）を明記し、昭和39年5月15日（金）までに必着するようハガキで下記申込み先へ提出する。

(2) アブストラクトの原稿用紙ならびに論文執筆要領を論文提出者に直接送付する。

(3) 論文の提出者は、所定の原稿用紙2,000字（図、表を含む）以内の和文アブストラクト（選考用）1通を作成、昭和39年6月30日（火）までに下記申込み先へ提出する。

連絡並びに申込先

東京都港区芝田村町1の1 日本原子力産業会議 アイソトープ課
電話 (591) 6121~4(代) (501) 1064 (直)